

不思議2 創建その2

最澄の進言によって御霊神社が創建されましたが、御霊神社以外の神社も、このときに創建されたと推測できる神社があります。それは本宮の北東、約 200mのところに鎮座する日吉神社です。

最澄は比叡山に天台宗を開きましたが、桓武天皇が遷都した平安京と比叡山は深い関係があります。比叡山の麓には日吉大社が鎮座しています。比叡山や日吉大社は平安京からみれば北東に位置し、鬼門に当たります。つまり比叡山や日吉大社は平安京を守護するために建立された神仏、ということになります。

御霊神社においても、鬼門にあたる北東には日吉神社が建立されています。御霊神社を創建したと伝わる葛井王は、桓武天皇の勅使であることから、平安京と同じ守護神である日吉神社を御霊神社の北東に創建したと考えられます。しかも、この日吉神社が創建されたところは、井上内親王の御園（みその）があったところと言い伝えられています。井上内親王の縁の処に守護神を祀ったことから、御霊神社は平安京のミニチュア版と考えられたと推測されます。それだけ桓武天皇にとっては、御霊神社は大切にすべき神社であったのでしょう。



桜が満開の日吉神社